

GPSMAP® 702/902 シリーズ インストールガイド

安全に関する警告と注意事項

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

電源ケーブルを接続するときには、インラインヒューズホルダーを取り外さないでください。火事や過熱による怪我や製品損傷の可能性がありますので、製品仕様で指定されている適切なヒューズを必ず取り付けてください。また、適切なヒューズを取り付けずに電源ケーブルを接続した場合、製品保証は無効になります。

⚠ 注意

掘削、切断、または研磨を行っている間は、保護ゴーグル、防音保護具、および防塵マスクを忘れずに着用してください。

注記

ドリルで穴を開けたり、のこぎりで切断したりする場合は、表面の反対側に何があるか常に確認してください。

最高のパフォーマンスを実現し、ボートの破損を防ぐために次の手順に従ってデバイスを取り付けます。

取り付ける前に、インストールガイドをすべてお読みください。取り付け時に問題が発生した場合は、Garmin® 製品サポートにお問い合わせください。

ソフトウェア更新

インストール後に、チャートプロッターソフトウェアの更新が必要となる場合があります。ソフトウェアの更新方法については、garmin.com/manuals/GPSMAP702-902 の操作マニュアルを参照してください。

必要な工具

- ドリル
- デバイスと取り付けスタイルに合ったドリルビット

取り付けスタイル	ドリルビットのサイズ
付属の M4 木製ねじでベイル	3.2 mm ($\frac{1}{8}$ in.)
フラッシュ	13 mm ($\frac{1}{2}$ in.)
付属の M3.5 木ねじでフラッシュ (702 シリーズ)	2 mm ($\frac{5}{64}$ in.)
付属の M4 木ねじでフラッシュ (902 シリーズ)	3.2 mm ($\frac{1}{8}$ in.)
付属の小ねじとナットプレートでフラッシュ	6 mm ($\frac{1}{4}$ in.) 4 mm ($\frac{3}{16}$ in.)
付属の M3.5 小ねじとタップ穴でフラッシュ (702 シリーズ)	M3.5 タップ
付属の M4 小ねじとタップ穴でフラッシュ (902 シリーズ)	M4 タップ

- #2 プラスドライバー
- 糸のこ、ジグソー、サンダー
- やすりとサンドペーパー
- 耐海水性のシーリング材 (推奨)

取り付けに関する注意事項

注記

このデバイスは、過酷な温度環境や状況にさらされない場所に取り付ける必要があります。このデバイスに適した温度の範囲は、製品の仕様に記載されています。保管の場合でも、稼動状況であっても、仕様で定められた適切な温度の範囲を外れて、過酷な温度に長時間さらされている場合、デバイスが故障する可能性があります。過酷な温度で生じた損害や派生的な結果については、保証の対象外になります。

取り付ける場所を選択する際は、次の注意事項に従ってください。

- 取り付け場所は、操船時に最も見やすい場所にする必要があります。
- 取り付け場所には、キーパッド、タッチスクリーン、カードリーダー (使用可能な場合) など、すべてのデバイスインターフェイスに容易に手が届く空間が必要です。
- 取り付ける場所は、デバイスの重さを支えられる強度があり、過度の振動や衝撃からデバイスを保護できる必要があります。
- 磁気コンパスの干渉を受けないように、製品の仕様書に記載されたコンパスの干渉距離からデバイスを遠ざけて取り付けてください。
- 取り付ける場所には、すべてのケーブルの配線と接続のために十分な空間が必要です。
- 取り付け場所を平らな水平面にする必要はありません。取り付け場所は垂直角にある必要があります。

デバイスを取り付ける前に、取り付け場所と表示角度をテストする必要があります。ディスプレイの上下に高い表示角度にすると、悪い画像に見える場合があります。

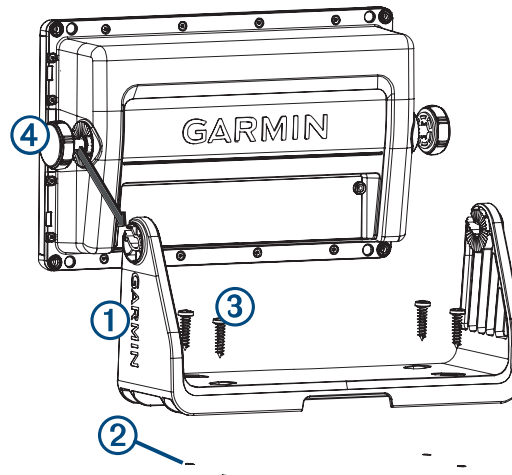
デバイスをベイルマウントで取り付ける

注記

ねじでブラケットをグラスファイバーに取り付ける場合は、カウンターシンク形のドリルで、最上部のジェルコーティング層のみにカウンターボア（ナットの頭を収める空間）を開けることをお勧めします。このように処理することで、ねじを締めるときにジェルコーティング層のひび割れを防ぐことができます。

付属のブラケットを使用して、デバイスを平らな表面にベイルマウントすることができます。

1 ベイルマウントブラケット ① をテンプレートとして使用して、パイロット穴 ② をマークします。



- 2 3.2 mm ($\frac{1}{8}$ in.) ドリルビットを使用して、パイロットホールを開けます。
- 3 付属の M4 木ねじ ③ を使用して、取り付け面にベイルマウントブラケットを固定します。
- 4 デバイスの左右にベイルマウントノブ ④ を取り付けます。
- 5 デバイスをベイルマウントブラケットに取り付けて、ベイルマウントノブを締めます。
- 6 トリムキャップをデバイスの端の近くにはめ込んで取り付けます。

デバイスをフラッシュマウントで取り付ける

注記

デバイスをフラッシュマウントで取り付けるために穴を開ける場合は、十分に注意してください。ケースと取り付け穴の間には、ほんのわずかの空間しかなく、穴を大きく開けすぎると、取り付け後でデバイスが安定しなくなる可能性があります。

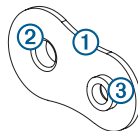
付属のテンプレートと部品を使用して、デバイスをダッシュボードにフラッシュマウントすることができます。取り付け面の材質に応じて、ハードウェアには 3 つのオプションがあります。

- パイロット穴を開けて、付属の木製ねじを使用できます。
 - 穴を開けて、付属のナットプレートと小ねじを使用できます。ナットプレートを使用すると、取り付け面が薄い場合に安定性が増します。
 - パンチを使用して穴を開け、付属の小ねじを使用できます。
- 1 テンプレートを取り出して、デバイスを取り付ける場所にテンプレートがフィットすることを確認します。
 - 2 取り付け位置にテンプレートをしっかりと取り付けます。
 - 3 取り付け面の切断ができるように、13 mm ($\frac{1}{2}$ in.) ドリルを使用して、テンプレートに印刷された実線の角の内側に 1 か所以上の穴を開けます。
 - 4 糸のこ、ジグソー、またはサンダーを使用して、テンプレートの内側の線に沿って取り付け面を切断します。
 - 5 切断部に合わせてデバイスを置き、上手くフィットするか確認します。
 - 6 必要に応じて、やすりとサンドペーパーを使用して切断部のサイズを調整します。
 - 7 必要に応じて、トリムキャップを取り外します。

注記

可能であれば、プラスチック製でこツールを使用します。ドライバーなどの金属製のもので利用すると、トリムキャップやデバイスが破損することがあります。

- 8 デバイスが切断部にフィットしたら、デバイスの取り付け穴とテンプレートに開けた大きい穴の位置がそれぞれ合うかどうかを確認します。
- 9 デバイスの取り付け穴の位置が合わない場合は、新しい穴の場所にマークを付けます。
- 10 取り付け面とモデルに応じて、ドリルまたはパンチなどを使用して大きい穴を開けます。
 - 702 モデルに付属する木製ねじの場合は、2 mm ($\frac{5}{64}$ in.) の穴を開けて、手順 18 に進みます。
 - 902 モデルに付属する木製ねじの場合は、3.2 mm ($\frac{1}{8}$ in.) の穴を開けて、手順 18 に進みます。
 - 付属のナットプレートと小ねじの場合は、大きい穴の位置に 6 mm ($\frac{1}{4}$ in.) の穴を開けます。
 - 702 モデルに付属するナットプレートがない小ねじの場合は、パンチを使用して M3.5 の穴を開け、手順 18 に進みます。
 - 902 モデルに付属するナットプレートがない小ねじの場合は、パンチを使用して M4 の穴を開け、手順 18 に進みます。
- 11 ナットプレートを使用する場合は、型紙の 1 つの角に合わせるように、前のステップで開けた大きい穴②の上にナットプレート①を置きます。

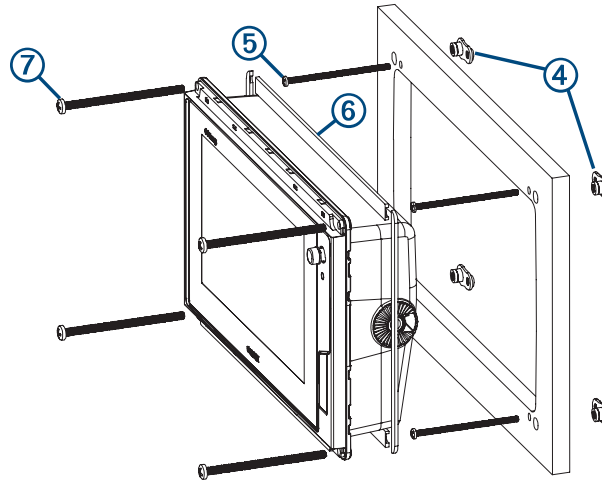


ナットプレートにある小さい穴③は、テンプレートの小さい穴と位置が合う必要があります。

- 12 ナットプレートの小さい穴がテンプレートの小さい穴と合わない場合は、新しい穴の位置にマークを付けます。
- 13 ナットプレートを使用する場合は、小さい穴の位置に 4 mm ($\frac{3}{16}$ in.) の穴を開けます。
- 14 残りのナットプレートとテンプレートの穴の配置を繰り返し確認します。
- 15 取り付け面からテンプレートを取り外します。

16 取り付ける場所の1つの角に合わせるように、ナットプレート④を取り付け面の後ろに置き、大小の穴の位置を合わせます。

ナットプレートの盛り上がった部分が大きい穴にフィットする必要があります。



17 小さい穴を小さい小ねじ⑤で締めて、ナットプレートと取り付け面を固定します。

18 デバイスの後部に発泡ガスケット⑥を取り付けます。

一部の発泡ガスケットは、裏側に接着面があります。これらをデバイスに取り付ける前に、保護ライナーを取り外したことを確認します。

19 取り付け後、デバイスの後部に手が届かなくなる場合は、切断部に取り付ける前に、必要なすべてのケーブルをデバイスに接続してください。

注記

金属の接触部が腐食しないように、未使用のコネクタには付属のウェザーキャップを取り付けます。

20 しっかりと密封して、ダッシュボードの後部の水漏れを防止するために、取り付け面とデバイスの間に耐海水性のシーリング材を塗布します。

21 デバイスの後部に手が届く場合は、切断部にも耐海水性のシーリング材を塗布します。

22 デバイスを切断面に合わせます。

23 大きい小ねじ⑦または付属の木製ねじを使用して、デバイスを取り付け面に固定します。

24 余分な耐海水性のシーリング材をすべて拭き取ります。

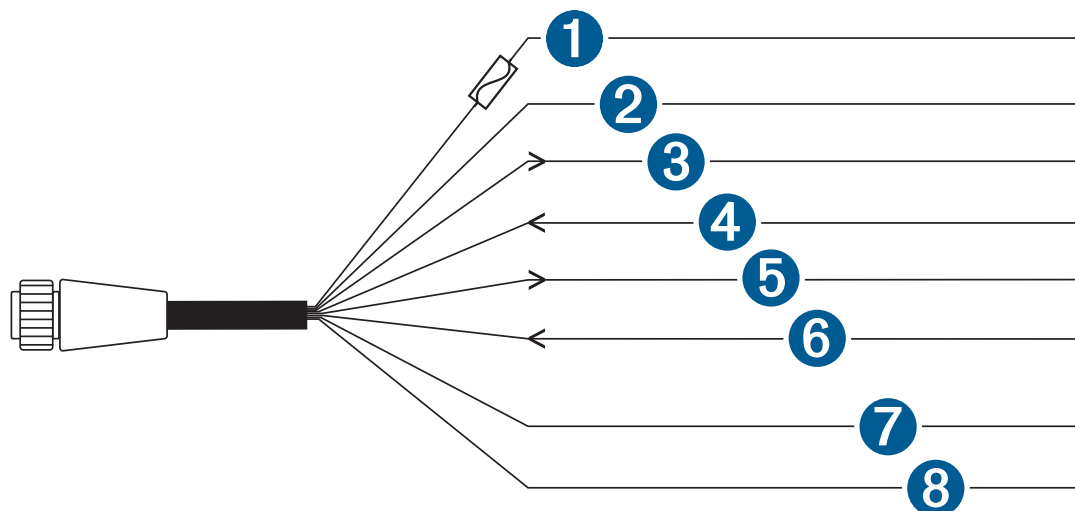
25 トリムキャップをデバイスの縁にはめ込んで取り付けます。

ケーブルおよび接続に関する注意事項

- ・ ケーブルがロックリングを装着していない状態で梱包されている場合があります。この場合、ロックリングを装着する前にケーブルを配線する必要があります。
- ・ ロックリングをケーブルに接続したら、リングがしっかりと接続されていて、Oリングで接続が固定されていることを確認します。

電源 / NMEA 0183 ケーブル

- ・ 配線ハーネスはデバイスを電源、NMEA0183 デバイス、ランプまたはホーンに接続して、警告表示や警告音を使用できるようにします。
- ・ NMEA 0183 または警報のケーブルを延長する場合は、22 AWG (33 mm²) ケーブルを使用してください。
- ・ このケーブルには、干渉測位方式の NMEA 0183 入力ポート 1 つと出力ポート 1 つがあります。



アイテム	ケーブルの色	ケーブルの機能
①	赤	電源
②	黒	アース (電源および NMEA 0183)
③	青	NMEA 0183 TxA (Out +)
⑤	グレイ	NMEA 0183 TxB (Out -)
④	茶	NMEA 0183 RxA (In +)
⑥	紫	NMEA 0183 RxB (In -)
⑦	橙	アクセサリ (オン)
⑧	黄	警報 (低)

配線ハーネスを電源に接続する

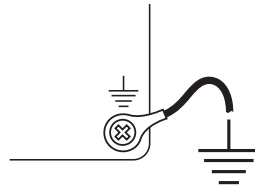
⚠ 警告

電源ケーブルを接続するときには、インラインヒューズホルダーを取り外さないでください。火事や過熱による怪我や製品損傷の可能性がありますので、製品仕様で指定されている適切なヒューズを必ず取り付けてください。また、適切なヒューズを取り付けずに電源ケーブルを接続した場合、製品保証は無効になります。

- 1 電源とデバイスに配線ハーネスを接続します。
- 2 正極 (+) のバッテリー端子に赤いケーブルを接続し、負極 (-) のバッテリー端子に黒いケーブルを接続します。
- 3 必要に応じて、ロックリングと O リングを配線ハーネスの端に取り付けます。
- 4 ケーブルをデバイスの裏側の POWER コネクタに挿入し、しっかりと押し込みます。
- 5 ロックリングを時計回りに回し、ケーブルをデバイスに接続します。

その他のアースに関する注意事項

この注意事項は、アースねじがあるデバイスにのみ適用されます。一部のモデルにはアースねじがありません。このデバイスは、ほとんどのインストールの場合において、シャーシによるアースを追加する必要はありません。干渉が発生している場合は、ハウジングのアースねじを使用して、船の海面アースにデバイスを接続し、干渉を避けることができます。



Garmin Marine Network に関する注意事項

注記

FLIR®カメラなどのサードパーティデバイスを Garmin Marine Network に接続する場合は、Garmin Power over Ethernet (PoE) 分離カプラー (P/N 010-10580-10) を使用する必要があります。PoE デバイスを Garmin Marine Network 海図プロッタに直接接続すると、Garmin 海図プロッタが損傷し、PoE デバイスが損傷する可能性があります。Garmin Marine Network 海図プロッタにサードパーティ製デバイスを直接接続すると、正常にオフにならない、またはソフトウェアを操作できないなど、Garmin デバイスで異常な動作が発生します。

このデバイスは増設の Garmin Marine Network デバイスに接続して、レーダー、ソナー、詳細地図など、データを共有することができます。Garmin Marine Network デバイスをこのデバイスに接続する場合、次の注意事項に従ってください。

- Garmin Marine Network に接続されたデバイスはすべて、同じアースに接続してください。
- すべての Garmin Marine Network 接続に、Garmin Marine Network ケーブルを使用する必要があります。
 - Garmin Marine Network の接続には、サードパーティ製の CAT5 ケーブルや RJ45 コネクタを使用しないでください。
 - 追加の Garmin Marine Network ケーブルやコネクタは、担当の Garmin 販売店から入手できます。
- このデバイスには、それぞれがネットワークスイッチとして機能する ETHERNET ポートがあります。互換デバイスは、ETHERNET ポートに接続して、Garmin Marine Network ケーブルで結ばれているポート上の全デバイスとデータを共有できます。

NMEA 2000[®] に関する注意事項

注記

既存の NMEA 2000 ネットワークに接続している場合は、NMEA 2000 電源ケーブルを識別します。NMEA 2000 ネットワークで正常に動作させるには、NMEA 2000 電源ケーブルは 1 本のみ必要です。

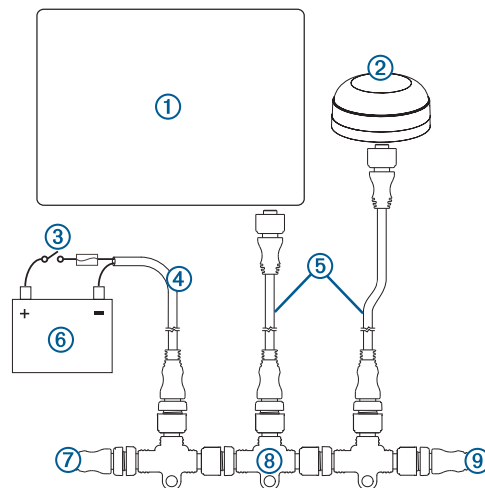
このデバイスを別の製造元の既存の NMEA 2000 ネットワークまたはエンジンネットワークに接続する場合は、既存のネットワークと Garmin デバイスの間に NMEA 2000 Power Isolator (010-11580-00) を取り付ける必要があります。

NMEA 2000 電源ケーブルを取り付ける場合は、そのケーブルをボートのイグニションスイッチまたは別のインラインスイッチに接続する必要があります。NMEA 2000 電源ケーブルがバッテリーに直接接続されている場合、NMEA 2000 デバイスによりバッテリーの電力が消費されます。

このデバイスはボート上の NMEA 2000 ネットワークに接続して、GPS アンテナや VHF ラジオなど、NMEA 2000 互換デバイスとデータを共有できます。付属の NMEA 2000 ケーブルとコネクタを使用すると、デバイスを既存の NMEA 2000 ネットワークに接続できます。既存の NMEA 2000 ネットワークが無い場合は、Garmin 製ケーブルを使用して基本的なネットワークを構築できます。

NMEA 2000 について知識に不安がある場合は、『NMEA 2000 製品のテクニカルリファレンス』の「NMEA 2000 ネットワークの基本」の章を参照する必要があります。www.garmin.com でお使いのデバイスの製品ページの「マニュアル」リンクを使用してこのドキュメントを見つけることができます。

デバイスを標準的な NMEA 2000 ネットワークに接続するには、NMEA 2000 とラベルが付いたポートを使用します。



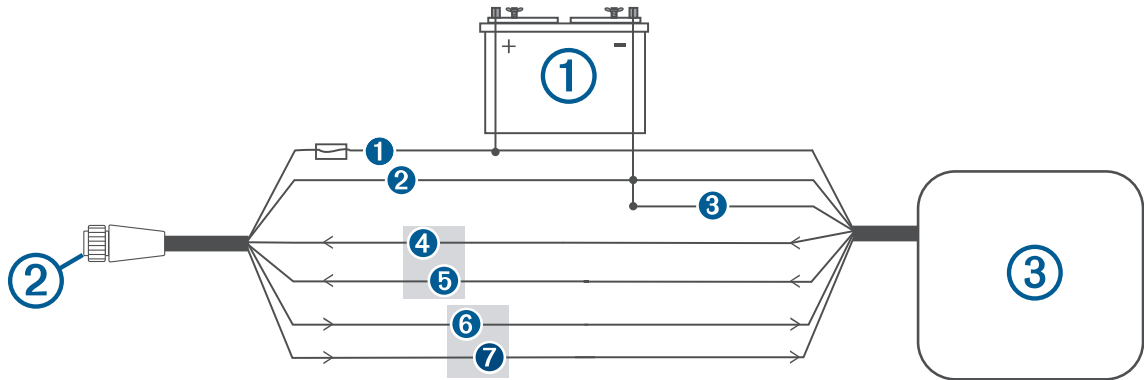
アイテム	説明
①	NMEA 2000 互換 Garmin デバイス
②	GPS アンテナ
③	イグニッションまたはインラインスイッチ
④	NMEA 2000 電源ケーブル
⑤	NMEA 2000 ドロップケーブル
⑥	DC 12 V 電源
⑦	NMEA 2000 ターミネーターまたはバックボーンケーブル
⑧	NMEA 2000 T コネクタ
⑨	NMEA 2000 ターミネーターまたはバックボーンケーブル

NMEA 0183 の接続に関する注意事項

- ・ チャートプロッターには、Tx (転送) ポート 1 基および Rx (受信) ポート 1 基が搭載されています。
- ・ 各ポートには、NMEA 0183 の慣例に従って、A および B とラベルが付いた 2 本のケーブルがあります。各内部ポートの対応する A および B ケーブルは、NMEA 0183 デバイスの A (+) および B (-) ケーブルに接続する必要があります。
- ・ このチャートプロッターへのデータ入力のために、Rx ポートに 1 台の NMEA 0183 デバイスを接続できます。また、チャートプロッターで出力されたデータを受信するために、Tx ポートに最大 3 台の NMEA 0183 デバイスを並行して接続できます。
- ・ 転送 (Tx) ケーブルと受信 (Rx) ケーブルを区別するには、NMEA 0183 デバイスのインストールガイドを参照してください。
- ・ ケーブルを延長して使用する場合は、28 AWG シールドツイステッドペアケーブルを使用してください。ハンダですべての接続部を固定し、熱収縮チューブで密封します。
- ・ NMEA 0183 データケーブルをこのデバイスから電源アースに接続しないでください。
- ・ チャートプロッターの電源ケーブルと NMEA 0183 デバイスは共通の電源アースに接続してください。
- ・ 内部 NMEA 0183 ポートおよび通信プロトコルは、チャートプロッターで設定されます。詳細については、チャートプロッターマニュアルの NMEA 0183 セクションを参照してください。
- ・ チャートプロッターがサポートする承認済み NMEA 0183 センテンスのリストは、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

NMEA 0183 デバイスの接続

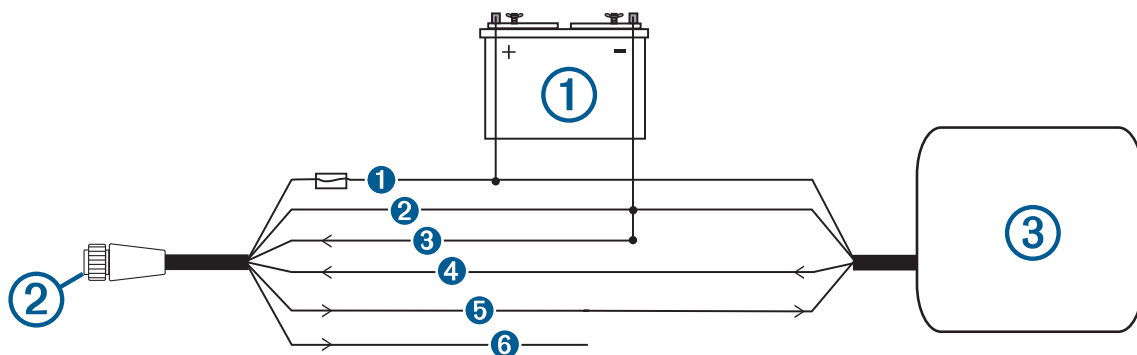
この図では、データを送受信するための双方向の接続が図示されています。単方向の通信についても、この図を使用できます。Garmin デバイスを接続している場合、NMEA 0183 デバイスから情報を受信するには、アイテム①、②、③、④を参照してください。Garmin デバイスを接続している場合、情報を NMEA 0183 デバイスに送信するには、アイテム①、②、⑤、⑥を参照してください。



アイテム	説明
①	電源
②	電源 / NMEA 0183 ケーブル
③	NMEA 0183 デバイス

アイテム	Garmin ケーブルの機能	Garmin ケーブルの色	NMEA 0183 デバイスのケーブルの機能
①	電源	赤	電源
②	電源ケーブルのアース	黒	電源ケーブルのアース
③	適用されません	適用されません	データケーブルのアース
④	RXA	茶	TXA
⑤	RXB	紫	TXB
⑥	TXA	青	RXA
⑦	TXB	灰色	RXB

シングルエンド NMEA 0183 デバイスの接続



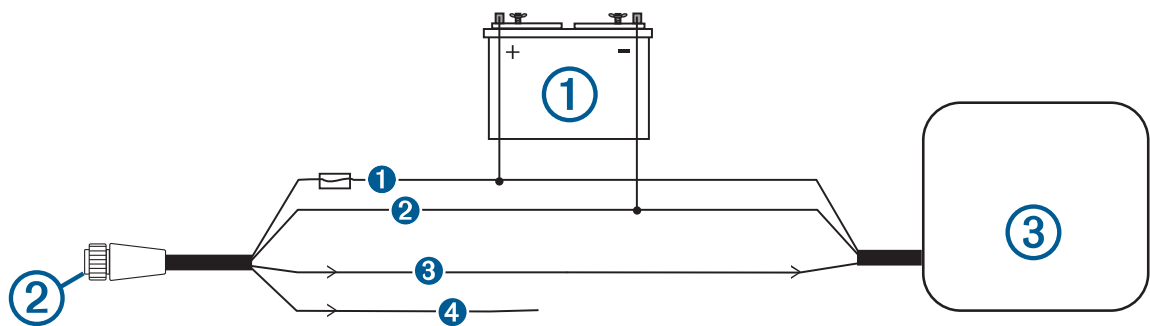
アイテム	説明
①	電源
②	電源 / NMEA 0183 ケーブル
③	NMEA 0183 デバイス

アイテム	Garmin ケーブルの機能	Garmin ケーブルの色	NMEA 0183 デバイスのケーブルの機能
①	電源	赤	電源
②	電源ケーブルのアース	黒	電源ケーブルのアース
③	RXB	紫	適用されません
④	RXA	茶	TX
⑤	TXA	青	RX
⑥	TXB	グレイ	該当なし

- NMEA 0183 デバイスの入力 (受信、RX) ケーブルが 1 本しかない場合 (A、B、+、-はない)、TXB ケーブルは接続しないでください。
- NMEA 0183 デバイスに出力 (送信、TX) ケーブルが 1 本しかない場合 (A、B、+、-はない)、RXB ケーブルをアースに接続してください。

NMEA 0183 デバイスを 1 本の受信ケーブルで接続した場合

この例の NMEA 0183 デバイスは、海図プロッタからデータを受信しています。

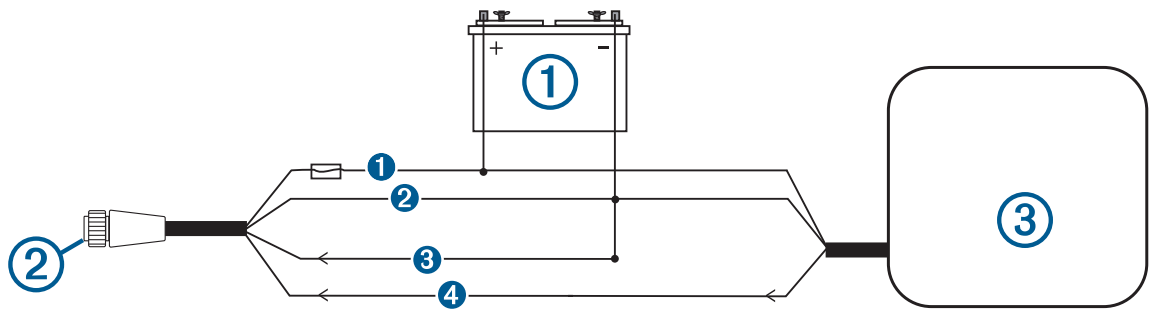


アイテム	説明
①	電源
②	電源 / NMEA 0183 ケーブル
③	NMEA 0183 デバイス

アイテム	Garmin ケーブルの機能	Garmin ケーブルの色	NMEA 0183 デバイスのケーブルの機能
①	電源	赤	電源
②	電源ケーブルのアース	黒	電源ケーブルのアース
③	TXA	青	RXA
④	TXB	灰色	適用されません

NMEA 0183 デバイスを 1 本の送信ケーブルで接続した場合

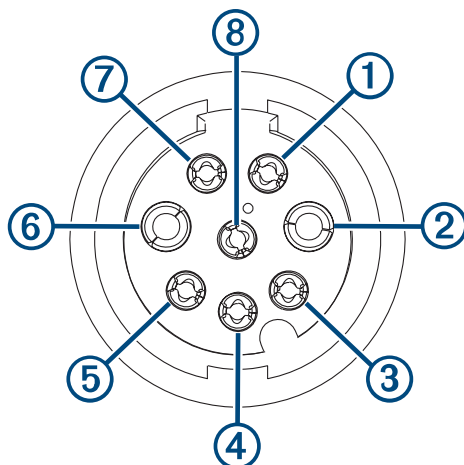
この例の NMEA 0183 デバイスは、海図プロッタにデータを送信しています。



アイテム	説明
①	電源
②	電源 / NMEA 0183 ケーブル
③	NMEA 0183 デバイス

アイテム	Garmin ケーブルの機能	Garmin ケーブルの色	NMEA 0183 デバイスのケーブルの機能
①	電源	赤	電源
②	電源ケーブルのアース	黒	電源ケーブルのアース
③	RXB	紫	適用されません
④	RXA	茶	TXA

NMEA 0183 および電源ケーブルのピン配列

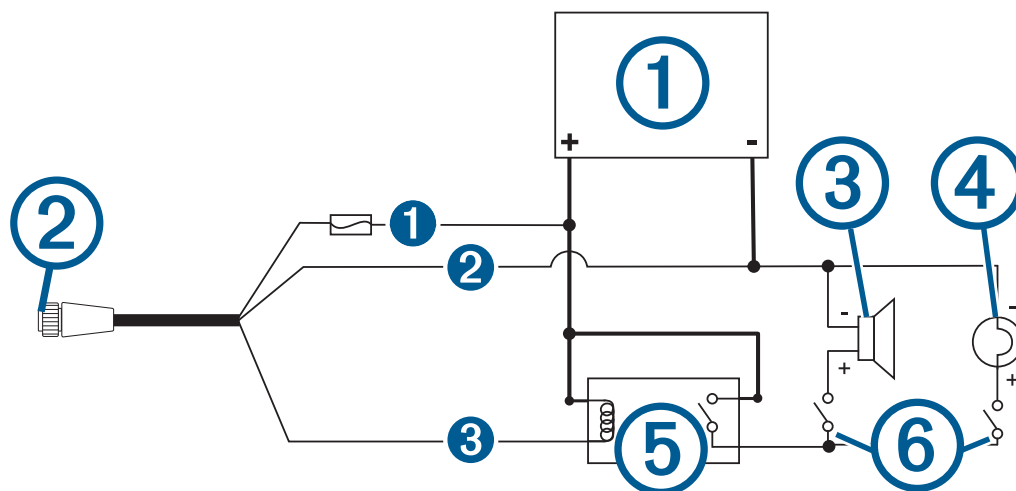


ピン数	ケーブルの機能	ケーブルの色
③	NMEA 0183 Tx/A (Out +)	青
④	NMEA 0183 Rx/A (In +)	茶
①	NMEA 0183 Tx/B (Out -)	グレイ
⑦	NMEA 0183 Rx/B (In -)	紫
⑤	警報	黄
⑧	アクセサリ (オン)	橙
②	アース (シールド)	黒
⑥	VIN	赤

ランプおよびホーンを接続する

チャートプロッターにメッセージを表示するときに、アラートを音または光で出力させるために、デバイスではランプ、ホーン、またはその両方を使用できます。これらの使用は任意であり、デバイスを正常に機能させるために、アラームのケーブルを使用する必要はありません。デバイスをランプまたはホーンに接続するとき、次の注意事項に従ってください。

- アラーム音の出力時には、アラームの回路を低電圧の状態に切り替えます。
- 最大電流は 1 A です。海図プロッタの電流を 1 A に制限するためリレーが 1 つ必要になります。
- 光と音のアラートを手動で切り替えるには、単極単一スイッチを取り付けることができます。



アイテム	説明
①	電源
②	電源ケーブル
③	ホーン
④	ランプ
⑤	リレー (1 A コイル電流)
⑥	ランプやホーンのアラートをオン / オフにするにはスイッチを切り替えます

アイテム	ケーブルの色	ケーブルの機能
①	赤	電源
②	黒	アース
③	黄	警報

コンポジットビデオに関する注意事項

この海図プロッタでは、CVBS IN というラベルの付いたポートを使用してコンポジットビデオソースからビデオ入力できます。コンポジットビデオを接続するときは、次の注意事項に従ってください。

- CVBS IN ポートでは、BNC コネクタを使用します。CVBS IN ポートとコンポジットビデオソースの接続に RCA コネクタを使用するには、BNC - RCA アダプタが必要です。
- ビデオは Garmin Marine Network で共有されますが、NMEA 2000 ネットワークでは共有されません。

仕様

全モデル

仕様	測定
温度範囲	-15° ~ 55°C (5° ~ 131°F)
材質	ポリカーボネートプラスチックおよびダイキャストアルミニウム製
防水等級 ¹	IEC 60529 IPX7
入力電圧	DC 10 ~ 32 V
ヒューズ	6 A、125 V 速断型
NMEA 2000LEN @ DC 9 V	2
NMEA 2000 流量	最大 75 mA
最大ウェイポイント数	5,000
最大ルート数	100
最大アクティブトラックポイント数	50,000 ポイント、50 件の保存トラック
メモリーカード	SD®カードスロット × 2、最大カードサイズ 32 GB
無線周波数およびプロトコル	Wi-Fi®、ANT®、Bluetooth®技術 2.4 GHz @ 17.6 dBm 定格

7 インチモデル

仕様	測定
寸法 (幅×高さ×奥行き)	224 × 142.5 × 53.9 mm (8 ¹³ / 16 × 5 ⁵ / 8 × 2 ¹ / 8 in.)
ディスプレイサイズ (幅×高さ)	154 × 86 mm (6.1 × 3.4 インチ)
重量	0.86 kg (1.9 lb.)
コンパス安全距離	71 cm (28 in.)
DC 10 V での最大電力消費	24 W
DC 12 V での標準的な電流ドロー	1.5 A
DC 12 V での最大電流ドロー	2.0 A

9 インチモデル

仕様	測定
寸法 (幅×高さ×奥行き)	256.4 × 162.3 × 52.5 mm ($10 \frac{1}{8} \times 6 \frac{3}{8} \times 2 \frac{1}{16}$ in.)
ディスプレイサイズ (幅×高さ)	197 × 114 mm (7.74 × 4.49 インチ)
重量	1.14 kg (2.5 lb.)
コンパス安全距離	76 cm (30 in.)
DC 10 V での最大電力消費	27 W
DC 12 V での標準的な電流ドロー	1.3 A
DC 12 V での最大電流ドロー	2.3 A

ソナーモデル

仕様	測定
周波数 ²	従来 : 50 / 200、77 / 200、83 / 200 kHz シングルチャネル CHIRP : 40 ~ 240 kHz Garmin ClearVü CHIRP : 260 / 455 / 800 kHz (振動子によって変化)
送信出力 (RMS) ³	CHIRP : 1000 W Garmin ClearVü および SideVü CHIRP : 500 W
深度 ⁴	1 KW の場合、5,000 ft.

¹ このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

² 振動子により変わります。

³ 振動子の定格と深度により変わります。

⁴ 振動子、塩分濃度、底質、その他の水の条件により変わります。

NMEA 2000 PGN 情報

送受信

PGN	説明
059392	ISO の確認
059904	ISO の要件
060160	ISO トランスポートプロトコル：データ転送
060416	ISO トランスポートプロトコル：接続管理
060928	ISO アドレス要求
065240	指定されたアドレス
126208	要求グループ機能
126996	製品情報
126998	設定情報
127237	船首方向 / 航路制御
127245	ラダー
127250	船体の進行方向
127258	磁気の偏差
127488	エンジンパラメータ：高速更新
127489	エンジンパラメータ：ダイナミック
127493	転送パラメータ：ダイナミック
127505	液量
127508	電池の状態
128259	速度：水の抵抗を考慮
128267	水深
129025	位置：高速更新
129026	COG および SOG：高速更新
129029	GNSS 位置データ
129283	クロストラックエラー
129284	ナビゲーションデータ
129539	GNSS DOP
129540	視角内の GNSS 衛星
130060	ラベル
130306	風のデータ
130310	環境パラメータ (廃止)
130311	環境パラメータ (廃止)

PGN	説明
130312	温度 (廃止)

転送

PGN	説明
126464	送受信 PGN リストグループ機能
126984	アラート応答
127497	トリップパラメータ : エンジン

受信

PGN	説明
065030	ジェネレーター平均基本 AC 量 (GAAC)
126983	アラーム
126985	アラートテキスト
126987	アラートの閾値
126988	アラート値
126992	システムの時刻
127251	回頭速度
127257	姿勢
127498	エンジンのパラメータ : スタティック
127503	AC 入カステータス (廃止)
127504	AC 出カステータス (廃止)
127506	DC 詳細ステータス
127507	充電器ステータス
127509	インバータステータス
128000	船舶リーウェイ角
128275	距離ログ
129038	AIS クラス A 位置レポート
129039	AIS クラス B 位置レポート
129040	AIS クラス B 拡張位置レポート
129044	基準面
129285	ナビゲーション : ルート、ウェイポイント情報
129794	AIS クラス A 静的な航海関連データ
129798	AIS SAR 航空機位置レポート
129799	無線周波数 / モード / 電源

PGN	説明
129802	AIS 安全関連ブロードキャストメッセージ
129808	DSC コール情報
129809	AIS クラス B "CS" 静的データレポート、パート A
129810	AIS クラス B "CS" 静的データレポート、パート B
130313	湿度
130314	実際の圧力
130316	温度：拡張範囲
130576	トリムタブステータス
130577	方向データ

NMEA 0183 の情報

転送

センテンス	説明
GPAPB	APB：方向 / 航路コントローラ (自動操舵) センテンス「B」
GPBOD	BOD：方位 (出発地から目的地まで)
GPBWC	BWC：ウェイポイントへの方位と距離
GPGGA	GGA：全地球測位システムの補正データ
GPGLL	GLL：地理的な位置 (緯度と経度)
GPGSA	GSA：GNSS DOP および稼働中の衛星
GPGSV	GSV：視角内の GNSS 衛星
GPRMB	RMB：推奨される最小限のナビゲーション情報
GPRMC	RMC：推奨される最小限の詳細 GNSS データ
GPRTE	RTE：ルート
GPVTG	VTG：地上のコースと地上での速度
GPWPL	WPL：ウェイポイントの位置
GPXTE	XTE：クロストラックエラー
PGRME	E：推定されるエラー
PGRMM	M：マップ基準面
PGRMZ	Z：高度
SDDBT	DBT：変換器下部の深度
SDDPT	DPT：深度
SDMTW	MTW：水温
SDVHW	VHW：航行速度と方向

受信

センテンス	説明
DPT	深度
DBT	変換器下部の深度
MTW	水温
VHW	航行速度と方向
WPL	ウェイポイントの位置
DSC	デジタル選択式通話情報
DSE	拡張デジタル選択式通話
HDG	方向、偏位、および偏差
HDM	方向、磁気
MWD	風向きと風速
MDA	気象複合
MWV	風速と角度
VDM	AIS VHF データリンクメッセージ

National Marine Electronics Association (NMEA) のフォーマットおよびセンテンスに関する詳細な情報は、NMEA (Seven Riggs Avenue, Severna Park, MD 21146 USA)(www.nmea.org) から購入できます。

© 2016 Garmin Ltd. or its subsidiaries

Garmin®、Garmin ロゴ、および GPSMAP® は、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

NMEA®、NMEA 2000®、および NMEA 2000 ロゴは、National Marine Electronics Association の登録商標です。HDMI®は、HDMI Licensing, LLC の登録商標です。

